



和田優樹

嵐市太郎

玉浦有之祐

忠村臣弥

新村宗二郎

藤井偉策

渡会元之

早瀬栄之丞

松涛喜八郎

## 『歌舞伎の楽しさ』

舞台機構や音楽のこと、立廻りに女形、舞踊のことなど：歌舞伎の特長や面白さを知ると、より豊かに歌舞伎を味わうことができます！『牛若丸』を十分に楽しんでいただくために、出演者が「歌舞伎の世界」にご案内いたします。

## 創作歌舞伎

# 牛若丸

あらすじ (三幕)

いまから八百年ほど昔。世の中は源家と平家に別れて争っていました。源義朝の妻、常盤御前(栄之丞)は我が子牛若丸を連れて逃げているところを、捕えられてしまいます。しかし、平宗清(臣弥)は、情けをかけて母子を逃がしてやるのでした。【伏見の里雪の場】

何年後、京の都で謎の美少年が夜毎五条橋に現われ、早業で人の刀を奪い取るとの噂が流れます。実はこの少年こそ、牛若丸(有之祐)。噂を聞きつけた、武蔵坊弁慶(渡会)は、懲らしめる為に牛若丸に斬りかかりますが、降参し、二人は主従となります。【五条橋 月の場】

その後も、鞍馬山で剣術の稽古に励んでいた牛若丸は、大天狗僧正坊(喜八郎)から、平家に打ち勝つための兵法書の一巻を与えられます。

牛若丸は、その一巻を手に弁慶を伴い、勇躍して陸奥へと旅立つのでした。【鞍馬山 花の場】



## 歌舞伎で描かれる義経の世界

歌舞伎には、源義経にまつわる芝居がいくつもあります。白馬にまたがり、兜の下には美少年の顔―それが多くの人がイメージする義経です。

しかし、本当はどんな人物だったのか、だれも知りません。義経に関する史料は少ないのです。少ないからこそ、数々の伝説が残っています。伝説と歴史は違います。義経を「物語」の登場人物として見てみると、その人生に共感したり、感動したり、いろいろなことを考えさせられます。伝説にはきつと想像力をふくらませる魔法のような役割があるのだと思います。

歌舞伎という「物語」の世界で伝説を楽しんで下さい。

## 伝統の美を

### 味わい尽くす

「雪月花」の三幕で構成された舞台には、衣裳・舞台装置など色鮮やかな世界が広がります。

そして、女形、舞踊、立廻りと、歌舞伎の魅力を十二分に楽しんでいただける、贅沢な作りになっています。

## アウトリーチ活動

お問合せ:前進座全国公演事務所

### 歌舞伎ことはじめ

対象:小学生以上



1月25日(土) 長岡コミュニティセンター  
14:00~15:30 (定員50名)

1月26日(日) 郷土資料館けやき館  
10:30~12:00 (定員20名)

1月27日(月) 元狭山コミュニティセンター  
15:30~17:00 (定員50名)

### 歌舞伎のいろは

対象:大人

1月25日(土) 長岡コミュニティセンター  
18:30~20:00 (定員30名)

## 瑞穂ビューパーク スカイホール 3月1日(日)



- JR八高線・川越線「箱根ヶ崎駅」東口から徒歩20分
- 駐車場あり
- 「箱根ヶ崎駅」東口より送迎車あり(要事前申込)

## アウトリーチ

パフォーマーが直接近隣のコミュニティセンター、児童館へ出かけて行って、公演をより楽しんで頂けるようにお話やワークショップ活動を致します!

後援:瑞穂町教育委員会